

日本ヒートアイランド学会 論文集執筆要領

平成19年 6月1日 制定

「日本ヒートアイランド学会論文集」の原稿執筆要領を、以下のとおり定める。

1. 原稿の言語

原稿は、和文または英文で執筆する。

この要綱では、以下に、和文原稿の執筆について示す。英文原稿の場合には、和文原稿の場合の和文論文表題と和文著者名を省き、全文を英文で執筆する。

2. 体裁

学術論文および技術報告原稿の体裁は、別紙「研究論文・技術報告フォーマット」による。

3. 文章

- (1)原稿はA4用紙を使用し、横書きとする。
- (2)文章は口語体（・・・である。など）とし、一般的で平易な表現とする。
- (3)原則として常用漢字を使用し、現代かな使い、新送りがなによる。
- (4)学術用語は原則として文部省検定の「学術用語集」およびJIS（日本工業規格）規定の用語による。
- (5)とくに難読または誤読のおそれのある用語は、最初に記載する用語にかっこ書きで読みがなを併記することが望ましい。
- (6)使用する年号は原則として西暦年号とする（例：2001）。
- (7)単位は国際単位系（S I）によるものとし、JIS Z8203 [国際単位系（S I）およびその使い方] に定める単位記号を使用する。
- (8)物理量を示す記号は斜体とする。
- (9)外国語をカタカナ書きした場合は、必要に応じて

かっこして外国語を原語で併記する。

- (10)章、節などの見出しはゴシック体、左寄せとする。章には1., 2., 3., ...の番号を付し、節には1.1, 1.2, ...および2.1, 2.2, ...などの番号を用いる。項には適宜(1), (2)またはa., b., ...などを用いる。

3. 標題および著者名

標題および著者名は、それぞれ和文と英文で記載する。

4. 図表および写真

- (1)学術論文および技術報告の図表については別紙「研究論文・技術報告フォーマット」による。
- (2)図（写真を含む。以下同じ）および表は適切かつ重要なものだけを選択する。
- (3)図および表のタイトルは適切な表現とする。
- (4)図のタイトルは図の下、表のタイトルは表の上に記入する。
- (5)図および表の番号は次による。
図1, 図2...
表1, 表2...
- (6)図および表に関する説明は、できるだけ本文中に入れる。
- (7)図および表はそのまま印刷できる版下原稿とする。写真等はスキャナー等で電子化する。
- (8)不明瞭な図表・写真は受け付けない。

5. 式番号

数式には(1), (2), ...の番号を付し、行の右端に記載する。

6. 参考文献

- (1) 記事に引用した文献については、原稿の末尾にまとめ、原稿中の引用箇所には右肩に通し番号で、(1)(2)あるいは(1)~(3)のように書く。
- (2) 文献の著者が複数の場合は、なるべく著者全員の名を記載する。著者名の中の‘and’は省略してよい。雑誌名を略記するときは“*Chemical Abstracts*”の方式に準拠する。
- (3) 参考文献の記載方法は次の形式による。

a. 雑誌の場合：

著者名，題目，雑誌名，巻数－号数（発行年），開始ページ－終了ページ。

例：

- (1) 吉田三郎・山田花子，ヒートアイランドに関する調査研究，ヒートアイランド，9-6(1983)，pp.37-40.
- (2) K.J.Cathro, D.C.Constable and T.Solaga, Durability of Porous Silica Antireflection Coatings for Solar Collector Cover Plates, *Solar Energy*, 27-6 (1981), pp.491-500.

b. 書籍の場合：

著（編）者名，書名，巻（1巻のみの場合は不要）（発行年），出版社，出版地（外国書籍の場合のみ）。

例：

- (1) 山田太郎，ヒートアイランド学(1999)，都市堂。
- (2) 田中次郎・大山和夫編，都市温暖化ハンドブック，第1巻(1998)，日本文献社。
- (3) 高田一郎訳（J.P.White 著），ヒートアイランドシステム(1983)，都市社。
- (4) J.A.Duffie and W.A.Beckman, *Solar Engineering of Thermal Processes* (1991), John Wiley & Sons, New York.

c. 国際会議 Proceedings, 講演論文集の場合：

著者名，題目，Proceedingsあるいは論文集名，号数（発行年－月），ページまたは論文番号，開催地。

例：

- (1) B.Window, D.R.McKenzie, G.L.Harding and A.R.Collins, The Sydney University Evacuated Collector Program, Proc. Heat Island Conference 2001 (2001-3), pp.87-93, Perth, Australia.
- (2) D.C.Beekley and G.R.Mather, Analysis and Experimental Tests of Solar Collector Arrays Based on Evacuated Tubular Solar Collectors, Ext. Abstr. 1975 ISES Conf. (1975-8), Paper No.21313 (CD-ROM), Los Angeles, California.
- (3) 山田太郎・田中次郎・大山和夫・佐藤一郎，クールチューブの実験研究(1)，太陽／風力講演論文集(1995)，pp.115-117，東京。

d. その他の場合

その他の参考文献については、論文読者が該当文献を入手できるように明記すること。インターネット上のホームページの場合は、恒常的に閲覧可能であるものに限る。

6. 電子ファイル

学術論文および技術報告の原稿は、必ず、Adobe PDF ファイル形式の電子ファイルとして送付する。ファイル名は、「第1著者フルネーム.pdf」とする。